

第207号

平成23年9月10日

病院だより



しんぜん院外健康教室

Hideo Iida

飯田 秀夫

鼠径部ヘルニアについて

Taeko Sasaki

佐々木妙子

病院の出来ごと

国際親善総合病院

URL <http://shinzen.jp>

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (庶務課)

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト



第4回 しんぜん院外健康教室

開催日時 平成 23 年 11 月 12 日 (土) 10:00~11:30

開催場所 中川地区センター 2階中小会議室

テーマ 脳卒中の予防・治療 -脳卒中にならないために-

講師：国際親善総合病院副院長・脳神経外科部長 飯田 秀夫
 日本脳神経外科学会専門医、日本救急医学会専門医
 日本人間ドック学会認定医、健診情報管理士
 日本脊髄外科学会認定医

脳卒中は、脳出血・脳梗塞・クモ膜下出血の病気を言います。

脳卒中は突然に起こる病気で、自覚症状は“右または左の手足に力が入らない”“右または左半身がしびれた感じがある”“うまく言葉が話せない”などであり、人から見ると、“顔面非対称”“上肢に力が入っていない”“ろれつが回らない”などで気付きます。このような場合は、脳卒中の可能性が高く、救急車を呼び、いち早く病院で受診してください。

脳梗塞の場合、発症時間から 3 時間以内（できるだけ早く）に受診し、CT上で異常がなければ血の固まりを溶かす治療（血栓溶解療法）が可能です。ただし、発症時間がはっきりしていない場合、たとえば朝起きたら半身が動かなくなったなどは、発症時間が何時かわからないため、血栓溶解療法はできません。また、脳梗塞・脳出血は高血圧が関与しており、高血圧であれば治療が必要となります。

クモ膜下出血は、激しい頭痛・嘔吐の症状が出現する病気で、中年以降の原因の多くは、脳動脈瘤破裂であります。クモ膜下出血になってしまっている場合は、緊急にて治療が必要です。しかし、クモ膜下出血を生じていない未破裂脳動脈瘤は、破裂率により患者さんの判断で治療法を決めます。治療の方法は、従来からの開頭し脳動脈瘤をクリップして脳動脈瘤をなくす手術と、血管内から脳動脈瘤の中にコイルを入れ脳動脈瘤を中から固める手術、脳血管内塞栓術の二種類の方法があります。脳動脈瘤の形態・脳の中場所にもよりますが、患者さんがどの手術法を選択するかを決定することができます。このように、脳動脈瘤があるかどうかを調べれば、クモ膜下出血を予防する事ができるのです。脳動脈瘤の発見・脳梗塞の有無は脳ドックにより見つけ出すことができます。

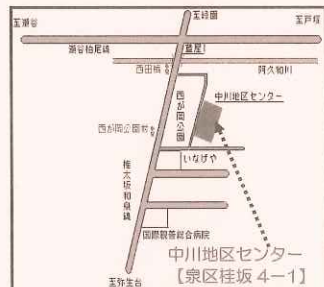
今回、皆さまにお伝えしたいのは、脳卒中になった場合なるべく早く救急車で病院に行くことが重要であり、脳ドックによる脳動脈瘤の早期発見、無症候性脳梗塞など症状を出す前の予防が大切です。また、脳出血にならないためには、高血圧にならないような血圧の管理をすることが非常に重要であることをお話したいと思います。

みなさまへ

『しんぜん院外健康教室』は、地域の皆様を対象として疾患予防と健康増進のために開催しておりますので、お気軽にご参加ください。



当日受付
参加費無料
先着 100 名



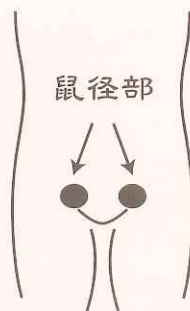
国際親善総合病院

【お問い合わせ先】庶務課 木村
 Tel: 045 (813) 0221 (内線 2274)

鼠径部ヘルニアについて

皆さんは鼠径部（そけいぶ）ヘルニアという病気をご存知でしょうか？「なんだか最近鼠径部が膨らんできた」「前から膨らんでいたけど膨らみ方がひどくなってきた」という訴えで外科外来に患者さんがいらっしやいます。腹壁が弱くなったことなどが原因なので、塗り薬や飲み薬では治らず、根本的な治療方法は手術しかありません。悪性疾患ではないので、全員がすぐに手術をする必要があるわけではありません。このため、「ほんの少しか膨らむことがあるけどすぐに引っ込むし、仕事が忙しくて今は手術をしないでいいや」という方もいらっしやいます。しかし、気をつけなければならない場合があります。それは、ヘルニア嵌頓（かんとん）といい、飛び出したものや、もとに戻らない場合です。症状としては、膨らんでいるところが痛くなったり赤くなったりする他に、そんなに痛みは強くないけれど便が出なかったり、吐き気が強いという場合があります。痛くなったり赤くなったりするのは、飛び出したものが締め付けられてむくんでしまったり、ひどい場合には腐ってしまうためです。便が出ないなどの症状は、一見鼠径部ヘルニアとは関係がないと思われるかもしれませんが、飛び出したものが腸管の場合には、腸閉塞の状態になってしまうため生じます。そして残念ながら飛び出したものが腸管で腐ってしまった場合には、腸管を切らなくてはならず、生命に関わることもあります。このような場合があるので、もし鼠径部が膨らんできたら、一度外科外来に相談にいらして下さい。

健康懇話会では鼠径部ヘルニアの症状・治療方法などについて絵や写真にてご説明させて頂く予定です。



外科 佐々木妙子

このテーマは

平成23年10月14日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

春 夏 病院の出来事 秋 冬



駐車場の変更について

8月25日より駐車場のご利用方法が一部変更になりました。

- ・第1駐車場出口、および第2駐車場入口の場所が変わりました。
*駐車場の案内表示をご確認ください。
- ・事前精算機を正面玄関(1階)に設置いたしましたので、お帰りの際にご精算ください。
*平日20:00時以降、および休日は守衛室(地下1階)にてご精算ください。

血圧脈波検査装置の導入

7月より動脈硬化性閉塞症および動脈硬化症の標準的診断に必要な血圧脈波検査装置(ABI/PWV)を導入しました。

※血圧脈波検査装置(ABI/PWV)は、動脈硬化を客観的に評価することのできる非侵襲的な検査装置です。



六男ご誕生おめでとうございます!!



8月1日(月) PM:産婦人科病棟前の廊下にかわいい来院者が・・・

横浜市旭区 綿貫 忍様・泉様ご夫妻の長男 優二君(11)、次男 隼人君(9)、三男 大樹君(7)、四男 祥吾君(5)、五男 翔君(2)、男の子5人兄弟ともなると元気いっぱいでも賑やか!!

この日5人のお子様たちは、お父様と一緒に7月31日18時07分に3178gで誕生した綿貫家の六男 一希君と初対面。

お母様へお子様は何人欲しいですか?とお伺いしましたところ「欲しい人数はとっくに超えました!子どもが大好きなので何人でも!!」っと心温まるコメントをいただきました。

新しい家族が増えて、これからの毎日がとても楽しみです。

